

自賠責保険と自動車保険の補償の内容

	ケガ	モノ
相手方への賠償	<p>相手のケガをした</p> <p>対人賠償保険 他人を死傷させ、法律上の賠償責任を負った場合に、自賠責保険の支払い限度額を超える損害を補償</p> <p>自賠責保険</p>	<p>相手のモノを壊した</p> <p>対物賠償保険 他人の自動車や建物など他人の財物に損害を与えた場合</p>
ご自身への補償	<p>ご自身やご家族、搭乗中の方がケガをした</p> <p>人身傷害補償保険 ご契約の車に乗車中の方が死傷した場合</p> <p>搭乗者傷害保険 ご契約の車に乗車中の方が死傷した場合</p> <p>無保険車傷害保険 ご契約の車に乗車中の方が死亡または後遺障害を被った場合で、加害者が対人賠償保険に加入していないなどのため、十分な損害賠償が受けられないとき</p> <p>自損事故保険 電柱との衝突や崖からの転落などの単独事故によって運転者自身が死傷した場合</p>	<p>ご自身のお車が壊れた</p> <p>車両保険 事故によってご契約の車が損害を受けた場合</p>

*いずれも自動車事故により、補償される内容。また、「対人賠償保険」「対物賠償保険」については法律上の賠償責任を負った場合。

「社会人になるといつかは、社会に対しての『責任』をもつこと。つまり、もし交通事故をしてしまった場合なら、そこで生じた損害や賠償は自分自身で責任をとることになる。責任をとるために必要なのが、いざというときに対応できる『備え』。万が一、人身事故などを起こせば被害者やその家族はもちろん、自分の人生にも大きなダメージを受けることになる。車を運転する

「どうして『くるまの保険』が必要なのですか？」

くるまの保険
基本のキホンQ&A

るなら、事故をしてしまったとき(あったとき)に対応できる内容の保険に加入することは、社会人として必須のルールなのだ。

たとえばこんな時、くるまの保険がサポートしてくれる(二例)。

- 左折時に、電柱に左側のドアをぶつけてしまった(電柱の修理費、車の板金・塗装費など)
- 自分の前方不注意のため交差点ではかの車と衝突し、相手の車が使えない状態に。また、自分のヒザを強く打って通院。相手の車の損害賠償、自分の車の修理費、治療費など)
- 運転中に後方から追突。車2台が損傷し、被害が事故以降カラダの痛みを訴えて入院。(車の損害賠償、通院費など)

1
損害保険 くるまの保険



徳島では社会人になると同時に車に乗り始める人が多い。また学生のときから車に乗っていた場合、働き始めるのを機に自分の責任でくるまの保険に加入するようになるという人もいます。そんな保険にキナーのために、いろはをお届けします。

参考/社団法人 日本損害保険協会 バイアースガイド

春だ！新社会人・保険ビギナーのための

はじめの「くるまの保険」選び講座

引越・就職など、新しい生活がスタートする季節がやってきた。大きな節目のときだからこそ、いざというときに備える保険についてもじっくり考えておきたいもの。新社会人のほか、保険加入を考えている女性向けの情報もチェックして。



「自賠責保険」と「自動車保険」(任意)の違いは？

自賠責保険は、原付バイクを含むすべての自動車加入することを法律で義務付けられている保険。この保険でカバーされるのは他人を死傷させた場合の損害賠償のみで、支払限度額(死亡3000万円など)がある。補償するのが対人賠償のみ。自賠責保険ではカバーされないものに備えるのが「任意保険」。自賠責保険の上限を超えた相手方への賠償、自身の補償、車の補償にかかる費用等をカバーしてくれる。(左上の表を参照)

はじめの「くるまの保険」、何に気をつけよう？

車の運転初心者や運転に不安がある人には「フル装備」の保険がおすすめ。運転に慣れていないため何があるかわからない。運転経験が浅い人の場合は事故が多いといわれているので、保険料の安さだけで選ばないこと。最初だからこそ慎重に、最悪のことを想定して「いざ」ときにサポートしてくれる保険」を選んで加入することが大切だ。

1年前ビギナーだった人からアドバイス
私が考える「くるまの保険」

初めてのことだから、すでに保険に加入している人からのアドバイスを参考にしよう。

親のすすめで、家族が加入している保険会社の同じ保険内容を選びました。加入した保険会社の方の対応も親切で、すでに加入している親や友人の意見を聞いてから決めることも大切だなと感じました。また、私は事故を体験した人の話を聞いたことがあり、本当に怖いものだと実感しているので、保険を選ぶときにも慎重に考えるようにしています。



佐川陽子さん(19歳)

話をしてくれたのは…

●保険に入るとき先輩が教えてくれたのが、「対人・対物は無制限にしておくこと」。万が一事故をして人に迷惑をかけることになったら、その賠償金は高額になることも予想されるし、ガードレールや信号機をこわしてしまつた場合はすごく高額になると聞き、僕もそうしました。(24歳・男性)

●「車に乗るん初めてなんやけん、なんでも保障してくれる保険にしとき」と母がアドバイスをくれて全部を補償してくれる保険に申し込みました。ところが、この冬の不注意で事故をしてしまったのですが、車のフロントに30万円、開いたエアバッグを新しくするのに80万円も修理費がかかったんです。本当に車両保険に入っていたよかったです！ そうでなければ、現在車を買ったときのローンも月々払っているうえに計110万円のお金がかかることになってしまひうなっていました。想像もつきません。ただ、事故をしてはじめて加入のとき親まかせだったため、自分で内容を理解していなかったことが判明。反省しました。(22歳・女性)